



現代の万博に寄せられる期待 ドバイ万博を振り返る 2025年大阪・関西万博に向けて

ドバイ万博が閉幕

アラブ首長国連邦で昨年10月1日より開催された「2020年ドバイ国際博覧会」が3月31日に閉幕しました。「心をつなぎ、未来を創る」をテーマに、史上最多の192か国が参加し、コロナ禍の中、来場者は約2410万人を数えました。



「2020年ドバイ国際博覧会」の入口。中東およびアフリカ地域では初めての登録博覧会として開催された。(写真提供: 2020年ドバイ国際博覧会日本館)

12月11日の「ジャパンデー」では、和太鼓や合気道など日本の文化を紹介するパフォーマンスが行われ、魅力に富んだパレードで次回の大阪・関西万博開催国であることをPRしました。

日本館は展示部門で金賞受賞

日本館の展示は、「アイデアの出会い」をテーマに、最新のテクノロジーで表現。専用のスマートフォンと館内のプロジェクトションマッピングを



日本館外観: アラバスクと日本の麻の葉文様を組み合わせ、日本と中東のつながりを表現した。(写真提供: 2020年ドバイ国際博覧会日本館)

連動させ、映像や音響を駆使して、日本の四季や歴史を体感できるほか、ミニチュア模型で宇宙や都市空間を表現した展示が好評を博し、予約が開始わずか数分で埋まるほど人気を集めました。

モノを別の物になぞらえる「見立て」の手法による日本らしい精巧な模型作品の数々や、「多様な出会いを大切にすることで新しいアイデアが生まれ、交流し、未来がより良い方向に変わりゆくこと」を体験できるよう、専用のスマートフォンで館内での行動履歴を蓄積し、その結果によって変化するクワイマックスが来場者を魅了。各国の取組を称える褒賞制度「パビリオンプライズ」にて、日本館は大規模パビリオンカテゴリーの



日本館内の様子: 展示空間にはひんやりとした極微細ミストが漂い、色鮮やかな映像との組み合わせることで高い没入感を演出。(写真提供: 2020年ドバイ国際博覧会日本館)

大阪・関西万博へ向けての期待

コロナ後の新たな時代の万博として世界中から注目が集まる「大阪関西万博」では、「未来社会の実験場」として、「空飛ぶクルマ」などに代表される新たな技術やサービスの実装が予定されています。地球規模での課題に対して新たな価値観を生み出し、持続可能な未来の構築を目指す万博は、様々な未来技術と世界に誇る歴史・文化を併せ持つ京都から、これからの社会のありかたを提案・発信できる機会でもあります。企業参画メニューは今後も順次発表予定です。

「2025年大阪・関西万博」スケジュール

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度
	2月	3月	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
各国への参加招請	ドバイ万博		各国への参加招請活動・途上国支援メニュー策定他						
パビリオン出展			基本計画策定 基本設計・実施設計		建設工事・展示物設置				
テーマ事業			基本計画策定		工事				
未来社会 ショーケース 事業	①スマートモビリティ万博	事業スキーム決定	2次募集		参加企業調整 開発・実証実験等		開幕準備		
	②デジタル万博	事業スキーム決定	2次募集		開発・実証・工事		運営保守		
	③バーチャル万博	基本計画 / 実施設計		制作 / 施工 / テスト		バーチャル万博開催			
	④アート万博	2次募集	参加企業決定・企画公募選定		制作 / 施工 / テスト				
	⑤グリーン万博	プロジェクト実現に向けた検討		参加企業調整、開発・実証実験等		開幕準備			
	⑥フューチャーライフ万博	2次募集	参加企業調整、開発・実証実験等		開幕準備				
会場警備・危機管理	リスク・危機管理方針 リスク・危機管理計画	危機管理体制・システムの検討・構築 教育研修・総合演習							
機運盛り上げ			「TEAM EXPO 2025」プログラム、教育プログラム他		入場券前売販売開始		ベストプラクティス選定		
行催事	催事施設	設計		工事		参加催事募集			
	催事コンテンツ	大型映像装置 / 音響装置 / 照明装置の募集							
営業参加								公募	

大阪・関西万博

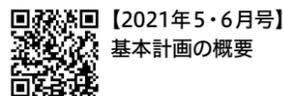
提供: 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

公式キャラクター決定

3月22日に、1,898件の応募の中から選ばれた公式キャラクターデザインの最優秀作品が発表されました。デザインは公式ロゴマークとの親和性を重視し、水のように自由に変容していく様が表現されています。キャラクターの愛称は公募の中から今年夏に発表予定です。



大阪・関西万博に関する過去記事はこちら



【2021年5・6月号】
基本計画の概要



【2021年9・10月号】
京都企業・団体も参加できる
多様な枠組みをご紹介します



【2022年1・2月号】
「未来社会の技術・サービス」を
万博会場から世界へ発信



【2021年7・8月号】
プロデューサー一覧・
TEAM EXPO2025の概要



【2021年11・12月号】
万博と社会的意義 ~京都に万博のレガシーを~
大阪府立大学研究推進機構 特別教授 橋爪 紳也氏



【2022年3・4月号】
特別寄稿 | 万博を契機とした未来社会への飛躍
京都が持つ強みへの期待

2025年日本国際博覧会 [略称「大阪・関西万博」] 会期 2025年4月13日~10月13日